

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日 更新

事務事業名		体育施設維持管理運営事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	辻 健一		
	施策	22 生涯スポーツの推進					所属課	生涯学習課	担当者名	衛藤 和博		
	基本事業	73 スポーツ施設(環境)の整備					所属班	スポーツ振興班	(内線)	1518		
予算科目		会計一般	款10	項6	目2	事業連番10851	法令根拠	スポーツ基本法			成果優先度評価結果	⑫
										コスト削減優先度評価結果	①	
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	市が管理している体育館やグラウンド等のスポーツ施設を、安全で快適に利用してもらえるように管理運営する事業である。 内容は、使用申請に基づく予約の受付と使用料の受理、除草剤等消耗品の購入、電気代や水道代、管理委託料の支払い、施設の軽微な修繕や大規模な改修工事を実施している。
【業務の流れ】	市内スポーツ施設に係る清掃委託、管理委託、自家用電気工作物保守委託、学校開放管理委託、修繕業務及び改修工事に係る設計書作成・契約事務・監理・支払事務、消耗品購入支払事務及び運搬補充、光熱水費、燃料及び電話代支払事務、工事関係事務、施設貸出予約受付・収納事務、大会利用打合せ事務。
【主な予算費目】	消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費、印刷製本費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費、負担金補助金及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	総合運動公園多目的グラウンドおよび中央運動公園グラウンドにバックネット裏に倉庫を設置してほしい。グラウンドの照明で切れているランプがあり、明るくしてほしい。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
上記「【業務の流れ】」に記載した事務のほか、武道館改修工事などを行った。		合志小跡グラウンド改修工事、栄体育館床改修工事、妙泉寺体育館カーテン改修等	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:委託契約件数	件	工事設計委託料、改修工事の増。	
→イ:修繕件数	件		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
上記「【事業の内容】」に記載されている施設		→ア:スポーツ施設数	箇所
		→イ:	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
常に気持ちよく安全に利用できる状態を保つ。		→ア:維持管理に関する苦情件数	件
		→イ:	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 ・「意図」が達成されているかどうかは利用者が判断することであり、そのひとつのものさしとして苦情件数を設定した。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
① 活動指標	ア	件		14	15	15	15	15	15	15	15	0
	イ	件		28	25	18	38	18	18	18	18	18
② 対象指標	ア	箇所		17	17	17	17	17	17	17	17	0
	イ											
③ 成果指標	ア	件		16	14	5	8	5	5	5	5	0
	イ											
投 入 費 量	事業 費 内 訳	財源	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円	5,432							
			地方債	千円								
			その他	千円	29,322	22,007	18,899	22,486	13,803	16,600	16,600	16,600
			繰入金	千円								
			一般財源	千円	44,342	18,342	26,094	23,438	29,935	53,035	52,311	45,211
	(A)事業費計		千円	79,096	40,349	44,993	45,924	43,738	69,635	68,911	61,811	
			(A)のうち指定経費	千円	10	10	10	10	10	10	10	10
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員従事人数	人	5	5	5	0	5	5	5	5
			延べ業務時間	時間	4,780	3,365	5,550	0	5,550	5,550	5,550	5,550
			(B)人件費計	千円	0	13,406	22,111	0	22,111	22,111	22,111	22,111
			トータルコスト(A)+(B)	千円	79,096	53,755	67,104	45,924	65,849	91,746	91,022	83,922

事務事業名	体育施設維持管理運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 武道館改修を行ったので、利用者が気持ちよく使えるようになった。 ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 「体育施設維持管理運営事業」において、スポーツ施設の改修工事等を行うことにより、利用者からの苦情は少なくなる。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ハード面での苦情は施設改修実施で減少する見込みであるが、利用者のマナーに関する苦情もあるため、今後はその啓発を図り苦情数減を目指す。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市の施設なので、市で維持管理するのが妥当である。運動公園等、都市計画課管理の公園と隣接しているグラウンドもあり、連携して管理を行い成果を向上させたい。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 施設の老朽化に伴う修繕費が増加しており、管理施設の数が減らなければ削減の余地はない。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 指定管理の検証が必要であるが、現時点で委託できる業務についてはすべて委託している。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 誰でも利用できる施設として公平である。市外者への使用料は体育館3倍、グラウンド2倍で負担してもらっている。 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ・シルバー人材センターに委託している業務を地域・団体に移行することも可能であるが、対価報酬を伴わないボランティアとして業務を引き受けてもらうことは難しい。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

円滑な受付業務と適切な管理運営を行うことによって、安全で快適なスポーツ施設を提供できると考える。修繕や改修工事は計画的に進めているが、老朽化に伴う管理費は毎年増加している。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								